

平成 18 年（2006 年）12 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（4 日目）

平成 18 年 12 月 18 日（月）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	多和田 栄子 (社社連合)	1 幼保一元化 について	安心して子育てができる環境づくりを目指し、 その特性と役割を発揮させるために、幼保一元化 がスタートした 本市においても今年度から、こどもみらい局が スタートし、教育委員会と連携して、事業が推進 されている。そこで問題点を伺う  (1) 実施後の問題点は何か  (2) 人事交流の現状と成果について伺う  (3) 平成19年度に、2年保育・預かり保育の拡 充がないのはなぜか  (4) 幼小連携について伺う
		2 図書館教育 について	月1回実施している移動図書館について、利用 者に喜ばれている。そこで、当局の見解を伺う  (1) 移動図書館を実施した経緯は何か  (2) 月に何カ所巡回しているか  (3) 移動図書館について、どのように運営しよ うとしているか、見解を求める

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 商店街活性化について</p> <p>4 老朽化校舎について</p>	<p>栄町商店街はモノレール安里駅開設に伴い、街の活性化、利用客の増加促進等を図るため、大通りにアーチを設置し、地元や観光客の誘致を図りたいとしている。そこで次のことを伺う</p> <p>(1) 商店街案内表示板の状況は、どのようになっているか</p> <p>(2) 活性化のための歓迎アーチ設置について、見解を求める</p> <p>古蔵幼稚園は築30年が経過し、老朽化に伴ないコンクリート片が剥離により落下し、鉄筋がむき出しになっている。いつ大きな事故が起きてもおかしくない状況である。そこで伺う</p> <p>(1) 天井剥離は何カ所あるか</p> <p>(2) 安全確保のためには緊急を要する。十分な対策が取られているか</p> <p>(3) 改築の予定はいつか</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、教育長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成18年12月18日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	桑江 豊 (公明党)	<p>1 港湾行政について</p> <p>2 住宅行政について</p> <p>3 交通行政について</p>	<p>(1) 那覇新港内道路第1ゲートから泊いゆまち手前までの間の放置車両及び駐車車両撤去の進捗状況について</p> <p>(2) 上記場所の不法投棄物撤去の進捗状況について</p> <p>宇栄原団地建替事業について</p> <p>(1) 再生団地計画（平成17年度明線事業）、いわゆる基本計画の策定はどのようなものか。また、その概要を教えてください</p> <p>(2) シルバーハウジングの増設はできたのか</p> <p>(3) 基本設計、実施設計、第1期建替工事等、今後の具体的スケジュールについて</p> <p>地域密着型コミュニティバス事業について</p> <p>(1) 「コミュニティバス導入計画検討調査報告書」の中で設定したルートと、これまでの実証実験の結果をどのように受け止めているか</p> <p>(2) 真和志ルート、小禄ルートの本格運行の可能性について</p> <p>(3) 平成19年度事業（本庁ルート実証実験）も引き続き実施するのか</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成18年12月18日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	比嘉瑞己 (日本共産党)	<p>1 学童保育 (放課後児童 クラブの充実 について)</p> <p>2 与儀学童保 育の問題につ いて</p> <p>3 那覇市上下 水道局庁舎跡 利用について</p>	<p>厚生労働省の来年度概算要求では、父母や指導員の皆さんの要求運動が反映され、学童保育予算を約70億円の増額を計上した。学童待機児童の解消や大規模化解消へ期待が高まっている</p> <p>(1) 那覇市の学童保育の現状を伺う</p> <p>(2) 学童開設日数の基準が設定されたことや、施設補助費創設で、市内の学童保育にはどのような影響があるか</p> <p>(3) 学童保育では施設整備と継続的確保、指導員の労働基準改善が急がれる。学童保育に関する施設設置基準や運営基準は整備されているか</p> <p>(4) 幼稚園児への補助廃止が危惧されているが、沖縄県固有の事情を考慮し、補助を続けるべき。また、低所得・ひとり親世帯への補助や、家賃補助や障害児を受け入れる学童保育への補助など、市独自の負担軽減策を拡充、創設すべきと考える。「こどもみらい基金」の活用も含めて見解を伺う</p> <p>これまで幼稚園空き教室を利用していたが、コンクリート天井の剥離により、現在は与儀小学校理科室での臨時的使用を余儀なくされている。今後の施設問題について、当局の見解を伺う</p> <p>跡利用について、地域の方々との協議はどのように進めているか。地域から要望の強い筋力トレーニングについて、健康福祉部はどのように協力できるか。当局の見解を伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、教育長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成18年12月18日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	糸数昌洋 (公明党)	<p>1 本市の情報化推進について</p> <p>2 障害者施策について</p>	<p>第二次那覇市情報化推進計画も次年度で終了する予定であるが、今後の情報化推進について伺う</p> <p>(1) 第二次計画の最終年度を迎えるが進捗状況を伺う</p> <p>(2) 平成20年度からの第三次計画の方向性について伺う</p> <p>(3) 超高速ネットワーク（JGNⅡ）の活用について伺う</p> <p>① 本市におけるネットワーク交流の実績について</p> <p>② JGNⅡを活用した地域間交流をどのように考えるか</p> <p>③ 全国初の自治体間のネット交流都市の実現について</p> <p>(1) 視覚障害児童の教育支援について伺う</p> <p>① 視覚障害児童数及び弱視児童生徒の実態について</p> <p>② 普通学級における弱視児童の状況について</p> <p>③ 拡大教科書など特別な教科書を必要としている児童生徒に対する支援体制について</p> <p>(2) 障害者の雇用施策について伺う</p> <p>① 本市の職員採用における障害者雇用の状況について</p> <p>② 本市の業務委託先や指定管理者の障害者雇用の状況について</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 高齢者等支援について	<p>一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯及び障害者だけの世帯のための、ちょっとした日常の困りごと、ニーズに対応する支援サービスの導入について伺う</p> <p>(1) 介護サービスに該当しない日常のちょっとした困りごとには、現場の声としてどういうものがあるか</p> <p>(2) 本市では、どのように対応しているか</p> <p>(3) 千代田区で実施している「高齢者等困りごと支援事業」の概要について</p> <p>(4) 本市独自の困りごと支援サービスを導入する考えはないか</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成18年12月18日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	玉城 彰 (民主クラブ)	<p>1 御茶屋御殿跡地周辺の公園整備について</p> <p>2 雇用政策について</p>	<p>御茶屋御殿は1677年創建され、中国皇帝の使者、冊封使を首里城で正式会見し、饗応接待に使われただけでなく、諸芸の名人を集めて詩歌・管弦・茶道・華道・琉歌・舞踊等を奨励し、照覧される館で、沖縄文化発祥の地であったと言われている</p> <p>また、御殿のあった首里崎山町の高台は、風光明媚で弁ヶ岳・久高島・南部一帯が眺望できる場所である</p> <p>このようなことから、御茶屋御殿は沖縄の文化遺産であり、また貴重な観光資源としても跡地を含め周辺を都市公園と位置づけ、首里城国営公園の整備事業の一環として取り組むべきと考えるが当局の見解を伺う</p> <p>11月19日の沖縄県知事選挙で初当選を果たした仲井真弘多氏は選挙公約で、沖縄の雇用問題を4年で全国並みにすると言っている。これは稲嶺前知事ですら2期8年間で実現できなかったことである。今後の取り組みに期待をしながら見守っていききたい。そこで、本市の状況について伺う</p> <p>(1) 本市の労働力人口はいくらか</p> <p>(2) 完全失業者は何人で、比率はどのようになっているのか</p> <p>(3) 正規雇用者と非正規雇用者は何人で、その比率はどのようになっているのか</p> <p>(4) 市税の納付率に与えている影響はないのか</p> <p>(5) 現在の雇用政策について</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 教育行政について	<p>子供たちを犯罪から守る安全連絡網や体制について伺う</p> <p>(1) 緊急時をはじめ、PTAなどの日常時の連絡について</p> <p>(2) 連絡系統について</p> <p>(3) 情報伝達の公平性や確実性について</p> <p>(4) 新しいシステムを導入することについて</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、教育長、関係部長</p>



個人質問（4日目） 平成18年12月18日(月)

順位	氏名 (党派名)	発言事項	発言要旨
6	瀬長 清 (自民・無所属 連合)	<p>1 建設行政について</p> <p>2 教育行政について</p>	<p>電線類地中化事業の推進について 電線類地中化整備のための基本構想や整備計画を早期に制定し、年次的・計画的にしっかりと取り組んでいくことが肝要であると考えます。そこで次のことについて、当局の所見を求めます</p> <p>(1) これまでの那覇市における電線類地中化事業の取り組みはどうなっているか</p> <p>(2) 平成16年度を初年度とする無電柱化推進の策定にあたり、那覇市として沖縄県に対し何を要望し何が採択されたのか</p> <p>(3) 今後の那覇市の電線類地中化への取り組みについて、どのように考えているのか。また、電線類地中化のための整備計画は策定されているのか</p> <p>小中学校老朽校舎の改築への取り組みについて</p> <p>(1) 沖縄振興計画は、平成23年度までとなり、残り5年となっている。今の段階で平成24年度以降も沖縄振興計画が継続されるかは不透明である。したがって、高率補助制度が適用されるこの時期に、できるだけ校舎整備についても前倒し整備が必要であると思うが、当局の所見を伺う そして、このような視点で平成18年度実施計画では、どのような対応がされているのか</p> <p>(2) 平成23年度までに必要な改築を完了するとした場合に、年に何校ずつ改築事業に取り組んでいくのか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 NAHAマラソンについて	<p>「NAHAマラソン」は、今や国内外を代表するスポーツイベントとして大きく成長し、22回目を迎えたが、一方では、マラソンコースの地域においては、交通渋滞の新しい課題も生じている</p> <p>全国的に人気の高いNAHAマラソンコースをもっと南国的情緒あふれるマラソンコースとして交通渋滞の解消も含めて、コースの整備をする必要があると考えているが、以下の点について伺う</p> <p>(1) 県外、海外からの参加者数を伺う</p> <p>(2) NAHAマラソンコースをさらに魅力あるコースとして整備する方法として、植栽の整備等々新たな演出を提案する考えはないか。当局の見解を伺う</p> <p>(3) ゼッケン配布時の県立武道館周辺地域の交通渋滞の状況を当局はどのように認識しているのか伺う</p> <p>(4) 例えば、ゼッケン配布時方法を郵送するか、県外参加者への配布場所を分けるとか、北部、中部、南部、先島等々地域に分けて配布する方法をとるとか、この交通渋滞緩和措置についてどのような対策をとっているのか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 生涯学習について	<p>琉球王朝時代から戦前まで旧小禄村で織られていた「小禄クンジー」の歴史や技法などを学ぶ講座が小禄南公民館で開催されたとの新聞報道があったが以下の点について伺う</p> <p>(1) 市民のその講座への応募状況はどうだったのか</p> <p>(2) その講座の概要と受講した皆様の評価はどうだったのか</p> <p>(3) 「小禄クンジー」は、戦後消滅した我が郷土の文化財的伝統工芸品であると本員は認識しているが、今後、本市の文化行政の一環として復元及び継承・発展の施策を展開すべきと考えるが当局の見解を伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、教育長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成18年12月18日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	喜舎場 盛三 (公明党)	<p>1 生活保護行政について</p> <p>2 教育行政について</p>	<p>(1) 生活保護費を受給している方々が受給を必要としなくなるのはどういう場合があるのか。また、生活保護が廃止された理由それぞれの種類の割合を伺う</p> <p>(2) 保護受給中の人々に対して、どのような就労指導が取られているのか</p> <p>(3) 生活保護のボーダーラインの人々に対して、保護受給者にならないために、どのような支援体制をとっているのか</p> <p>(4) 扶助費の中で最も多い医療費を減らすための取り組みはどのようなものか</p> <p>(5) 生活保護法第63条、第78条の問題について。それはどのような内容か</p> <p>(1) 小中学生の携帯電話について 県外では生徒が携帯電話を持たないような取り組みをしている学校もあれば、現実に中学生の大半が既に所持していることを前提に、その危険性等に関する授業を行っている学校もある。本市においては、どのように取り組んでいるのか</p> <p>(2) いじめの問題について ① 学校におけるいじめの問題は、いつの時代でも存在すると思うが、今特に増加してきているのか、また、いじめの質は変化してきているのか ② いじめに対する本市の取り組み ③ 学校における人権教育は怎么样了のか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 道路行政について</p> <p>4 公園行政について</p>	<p>繁多川2丁目の防災道路建設の進捗状況について</p> <p>末吉公園に昨年整備された駐車場があるが、雨が降ると、その駐車場の水が大量に下の住宅に流れて大変困っている。1日も早く対策を取ってほしい</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、教育長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成18年12月18日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	大城 春吉 (自民・無所属 連合)	1 南風原町の 区画整理事業 にかかる道路 計画について	<p>当地域は那覇市と隣接する地帯で交通の利便性が高く、昨今急速に住宅市街地化が進み、今後本事業によってさらに市街化が形成されるのは確実である。本事業は、平成25年完成を目指して現在着実に進行している</p> <p>この事業計画からすると、那覇市境界付近に取り付けられる街区道路を見る限り、次のことが考えられる。①那覇市道(仲井真8号)に斜め接続の道路計画になっている。津嘉山方面からの車は斜めに相手コースに入らないと通過できないので、交通事故が増え安全面に問題がある。②那覇東バイパスと国道507号(津嘉山バイパス)が渋滞すると南風原町や南部方面からの車が流入するので、特に仲盛自治会内は騒音・排気ガス・交通渋滞・交通事故等で平静な住宅地が脅かされる。これらの観点から次の点について伺う</p> <p>(1) 本市に対して南風原町側から事前に同事業計画についての説明なり調整なりがあったのか</p> <p>(2) 仲井真8号(仲盛自治会内)の道路に取り付けられている街区道路の放線を、同計画道路の東側道路より直線に繋ぐよう、変更ができないかを南風原町と調整してもらいたいと思うがどうか</p> <p>(3) 国道507号バイパスが供用開始すれば、朝夕の渋滞時には仲盛自治会内に取り付けられる街区道路へ一般車両が流入する可能性が非常に高いので、ラッシュアワー時(7:00～9:00)は南風原町方面からの車の乗り入れを禁止して一方通行にするよう、関係機関と調整する考えはないか</p> <p>(4) 児童、生徒の通学路にもなっているので、スクールゾーンの指定ができないか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>2 国道 507 号津嘉山バイパスの新設計画について</p>	<p>県南部土木事務所の計画によると、南風原町の津嘉山区画整理区域から那覇東バイパスへ繋ぐ津嘉山バイパス計画が平成21年の供用開始に向けて進められている</p> <p>県の計画では①津嘉山バイパスを那覇東バイパスに繋ぐ②現在開いている中央分離帯は閉める③一日橋方面へ行くには津嘉山回りで行く④那覇東バイパスの外側道を二車線から一車線にする。以上のことを構想している。津嘉山バイパスの新設によって字仲井真地域、特に仲盛・平和苑、ハイツ自治会の住民にとっては騒音、排気ガス、交通事故等の危険性が高く、また地域にとっては大変不便になる。そこで、次の点について伺う</p> <p>(1) 本市は、すでに都市計画決定された中で、津嘉山バイパス新設計画について、県と事前調整をしたのか</p> <p>(2) 津嘉山バイパス計画構想で指摘している上記①～④の件については、地域住民にとっては益々不利になるので、現状のままにするように県に働きかけているが、当局も市民が支障をきたさないように、県と調整する考えはないか</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成18年12月18日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	大城 朝助 (日本共産党)	1 都市計画行政について	<p>(1) 那覇市独自の談合防止策について          県内でも建設業界の談合問題が発覚し、大きな社会問題となっているが、今度は福島県、和歌山県、宮崎県の知事が県発注工事をめぐり逮捕された。知事以外でも、全国で市長、町長等が逮捕されるなど、公共事業発注に伴う事件が後を絶たない          談合は犯罪であり、国民の税金を食い物にするもので、絶対にあってはならない犯罪である。その根絶が強く求められている。以下質問する</p> <p>① 那覇市発注工事に関し、発注前の談合に関する通報は過去5年間で何件あったか</p> <p>② 県内建設業界の談合事件発覚前と発覚後の那覇市発注工事の予定価格に対する落札率について、ランク別に答弁を求める。また、その結果、市の財政、税金は幾ら節約できたか</p> <p>③ 那覇市独自の談合防止策はどのようなになっているか。公共工事をチェックする「第三者機関」を設置すべきと考えるが答弁を求める</p> <p>④ 石嶺市営住宅第1期建替工事(第1工区)は仮契約を締結したあとに契約を辞退しているが、再入札では第1回目落札価格を上回ってはならないと考えるが、どう対応するのか答弁を求める</p>



順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(2) 中小零細業者の保護・育成策について</p> <p>① 平均落札率が下がった分、下請け業者にそのシワ寄せがあってはならないが、市はどのような施策と対策を行っているか</p> <p>② 市内業者の保護策は守りつつ、すべての公共工事について、ランクごとに競争入札とし、最低入札予定価格の公表を実施すべきと考えるが答弁を求める</p> <p>③ 2000年施行の「公共工事の入札・契約適正化法」が制定された背景はなにか。また、同法に義務付けられている「施行体制台帳」に二次以下の下請代金も添付させるべきと考えるがどうなっているか</p> <p>(3) 泊ふ頭開発株式会社の再建問題について</p> <p>① 「とまりん」の設立趣旨と事業開始後の管理運営上の問題点。再建問題の経緯について答弁を求める</p> <p>② 「とまりん」に対する那覇市の出資金額と比率及び補助金と貸付金(あれば)について答弁を求める</p> <p>③ 「とまりん」の現在の経営実態と売却後の収支予測について答弁を求める</p> <p>④ 「とまりん」のフロアの一部売却にあたって関係機関との調整は解決したか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>⑤ フロアーの一部売却は公共性をもつ第三セクターの性格上、公正・公平・透明性からして、当然、公募による競争入札とすべきと考える。答弁を求める</p> <p>⑥ 「かりゆし」はフロアーの買収後、転売は可能か。一定期間の転売禁止の歯止めはあるのか。答えてほしい</p>
		2 総務行政について	「職務に関する働きかけについての条例・要綱について」取り組みの進捗状況について答弁を求める
		3 交通行政について	新都心地区築の慢性的交通渋滞は抜本的対策が必要と考える。答弁を求める
		4 公園行政について	大道森公園及び城岳公園の年次計画と進捗状況について答弁を求める
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成18年12月18日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
10	渡久地 修 (日本共産党)	<p>1 学校への脅迫について</p> <p>2 多重債務者の支援について</p> <p>3 学校給食への琉球漆器食器の使用拡大について</p>	<p>市内の小学校へヤミ金業者と思われるものから脅迫状が送られたが、これは、教育に対する許しがたい攻撃である</p> <p>教育委員会は、脅迫行為に屈服することなく毅然として対処すべきであり、今からでも告訴、告発すべきである。また、多重債務で苦しんでいる父母には、解決への支援を行うべきである。見解を伺う</p> <p>利息制限法を上回る利息は違法との最高裁判決が出され、貸金業規制法も改正されたが、那覇市民の多重債務者の実態、過払い金返還の実態に等について問う</p> <p>また、多重債務者の多くは、国保税や住民税なども滞納していると思われるが実態はどうか。その方々の多重債務解決への相談・支援及び体制、解決状況などについて、那覇市及び他市の状況と今後の対応を問う</p> <p>9月定例会で、学校給食用琉球漆器の使用校の拡大について、市長は「2001年にそのような質問があり、お約束をし、その後2校において導入されました」「ぜひ導入も今後ともやっていきたい」と答弁した。まさに「一つの光明を見いだす思い」（地元新聞）と評価されたが、具体的に、次年度はどれだけの学校に拡大するのか</p> <p>経済観光部と教育委員会が押し付け合いをしているとも聞くがどうか。どこが中心になるのか</p> <p>全国的には、学校給食用食器への漆器食器の問題も、学校給食への地産地消問題も、経済部が中心になって取り組んでいるところでは成功しているが、市長の見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>4 高齢者のモノレールや市の公共施設の無料化・割引き制度について</p>	<p>去年の12月定例会での同制度の提起に、市長は「大胆に取り入れる必要がある」と答弁。その後2月定例会では「政策推進会議」で検討しているとの答弁だったが、検討状況と実施時期、実施方法等について問う</p> <p>同会議では、市の公共施設については、半額を検討していると聞いているが、せめて世界遺産である「識名園」「玉陵」は70歳以上の市民は無料にすべきではないか。また、市の方針が確定した段階で、モノレールと首里城の無料化・割引きについての申し入れをするなど協同して実現できるようにすべきである</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、助役、教育長、関係部長</p>